

# 07

## 第7章 交通事故

### - 逸失利益と時間価値との関連について学ぶ

本講での学習のゴール（講義後に学生は以下の事項ができるようになっている）

- 時間価値について把握できている
- 事故と損害賠償について理解できる
- 事故防止のためのリスクマネジメントの必要性と内容を説明できる

#### 学習の狙い

バイクや自動車を運転すれば、だれもが被害者になるばかりか、加害者になり得ることも十分に考えておく必要がある。事故の場合の損害賠償の現実を知ることで、事故に備えるリスクマネジメントの方法を正しく理解することが求められる。

#### この章の概要

この章では、交通事故を起こしてしまった場合の相手方に支払うべき損害賠償額について、実務上の計算の方法を理解することにより、リスクマネジメントの重要性に気づき、損害保険に加入することの意味を認識する。

#### [Case 7]

大学生Aさんは夜間バイクで走行中に、信号の無い交差点で、横断歩道の子連れで急いで横断しようとした女性を気づかずはねてしまった。女性は頭を強く打ち病院に運ばれたが翌日亡くなった。女性は37歳の専業主婦だったが、Aさんはどれだけの損害賠償をしなければならないのだろうか。また、こうした事故を起こしてはならないことは当然だが、万一に備えどのような準備をしておくべきか思いつくことを書き出してみよう。

計算方法：

損害賠償の実務では・・・

被害者の年齢、性別、年収、就労可能年数によって逸失利益の計算が行われる。専業主婦や就労前の子どもや学生は、平均賃金（賃金センサスによる。性別や学歴を考慮）による。就労可能年数は67歳までとされる（55歳未満の者は、67歳から被害者の年齢を控除した年数、55歳以上の者については、簡易生命表により求めた平均余命年数の2分の1とされている）。

[Case 7]では、以下のような計算となる。

・生涯所得（逸失利益）の計算法 【\*係数表の活用を考えてみよう】

年齢 37 歳

年収の計算 45 ページの表から・・・  × 12 か月

生涯所得 年収 × (就労可能年齢により算出した年数)

時間価値を考慮すると・・・

中間利息の控除？ 年収 ×  係数

×  (  年 % )

生活費控除率とは？

逸失利益のほかに

- ① 治療費、通院交通費
- ② 慰謝料、葬儀費
- ③ この金額を支払えるか。

バイク購入時に必ず加入が義務付けられる自賠責保険の対人賠償額は  万円である。それ以上の支払いが必要な場合はどうしたらよいか。

- ④ 強制保険と任意保険について

自分の加入している保険を確認しよう（保険でカバーされるものや金額を知ろう）。

キー概念

- 時間価値
- リスク
- リスクマネジメント
- 逸失利益

キー概念解説

**時間価値**：時間の経過が生み出す価値。金融関連ではとくに重要な価値とされる。複利で運用されると当初の資金価値は時間経過とともに大きく膨らんでいく。不動産などの場合には、経済変動を伴うので、将来値上がりするかもしれないという期待値となる。

**リスク**：予想通りにはいかない可能性や、結果が分からない不確実な状態をいう。

**リスクマネジメント**：リスクを軽減したり、分散、回避することにより、リスク発生時の予期せぬ損失を最小限に抑えるために、一定の費用負担をするなど合理的な方法でリスクを管理する手法。

逸失利益：もし事故等に遭遇してなければ得たであろう利益。得べかりし利益。事故等の加害者は被害者の逸失利益を賠償することが必要となる。

[Work 7-1]

年齢別平均賃金の表を使って、年齢、年収などを指定し、互いに事例を作成し逸失利益の計算をしてみよう。

出題： 年齢 才 平均年収 円 就労可能年数 年

年齢別平均給与額(平均月額) H14年以降の事故に適用

年齢	男子	女子	年齢	男子	女子	年齢	男子	女子
18	187,400	169,600	38	450,500	307,900	58	454,400	269,000
19	199,800	175,800	39	456,600	306,800	59	430,900	260,900
20	219,800	193,800	40	462,600	305,600	60	406,300	252,700
21	239,800	211,900	41	468,600	304,500	61	381,700	244,500
22	259,800	230,000	42	474,700	303,300	62	357,200	236,400
23	272,800	238,700	43	478,300	301,000	63	350,100	236,400
24	285,900	247,400	44	482,000	298,800	64	343,000	236,400
25	298,900	256,000	45	485,600	296,500	65	336,000	236,500
26	312,000	264,700	46	489,300	294,300	66	328,900	236,500
27	325,000	273,400	47	492,900	292,000	67	321,800	236,500
28	337,300	278,800	48	495,500	291,800	68～	314,800	236,600
29	349,600	284,100	49	498,100	291,700			
30	361,800	289,400	50	500,700	291,600			
31	374,100	294,700	51	503,300	291,400			
32	386,400	300,100	52	505,800	291,300			
33	398,000	301,900	53	500,700	288,500			
34	409,600	303,700	54	495,500	285,600			
35	421,300	305,500	55	490,300	282,800			
36	432,900	307,300	56	485,200	280,000			
37	444,500	309,100	57	480,000	277,200			

(注)本表は、平成12年賃金センサス第1巻第1表産業計(民・公営計)によりもとめた企業規模10～999人・学歴計の年齢階層別平均給与額(含臨時給与)をその後の賃金動向を反映して0.999倍したものである。



Student ID:

名前:

提出期限 月 日

**[Homework 7]**

損害保険料について、バイクの場合と自家用自動車の場合とでどれくらいの金額の差があるのか調べてみよう。家族の加入している任意保険について、その賠償の範囲についてたずねてみよう。

関連: Work 4-2